

第4回 福井警察署協議会

開催日時	令和7年12月1日（月）午後1時30分から
開催場所	福井警察署等
出席者	福井警察署協議会 会長以下 8名 福井警察署 署長以下 5名
協議会の概要	
<p>1 署長挨拶</p> <p>2 事務概況報告</p> <p>(1) ハロウィン対策</p> <p>10月31日のハロウィンについては、令和3年から、福井駅前を中心にコスプレをした若者や暴走族風のバイク等が多数集まりトラブルが発生するようになつた。今年は、当日が金曜日、翌11月1日が土曜日ということで多くの人出が予想され、また、11月1日には外国人による仮装パレードが予定されていたので、体制を強化し対策を講じた。当日は、コスプレをした少年等が集まつたものの、暴走バイクの走行、大きな事件・事故の発生はなかつた。翌11月1日は、コスプレをした少年は少数見受けられたものの、大きなトラブルの発生はなかつた。事前に商業施設や公共交通機関等に対する管理者対策をはじめ、非行少年や暴走族対策の徹底など、総合的な対策を講じたことが功を奏したと思っている。来年は、10月31日が土曜日となるため、少年が多く集まることも予想されるので、引き続き対策に万全を期したい。</p> <p>(2) 中藤花火対策</p> <p>10月19日に開催された中藤花火は3年目となる。今年は、トレタスで開催の「中藤まつり」と同日開催であり、観覧者の増加が見込まれた。当署としては、地域課と警備課が中心となり、主催者である九頭竜川花火大会実行委員会と効果的な警備員の配置や交通規制の方法、危険箇所の抽出と対策などの事前検討を重ねた。その上で現場確認を行い、さらに不安要素を取り除いた。その結果、当日の観覧者は、約1,600人と昨年の約500人を大幅に上回つたものの、事故なく終了することができた。</p> <p>(3) 永平寺町における熊対策</p> <p>熊の住宅街への出没が社会問題化している中、10月22日午前11時頃、永平寺町上志比地区の住民から「熊3頭が付近を徘徊している」との通報を受け、装備資機材を着装した当署員、パトカーなどが現場に急行した。現場到着後、通報者からの事情聴取、熊の検索を行うとともに、学校及び通学路の警戒を実施した。また、永平寺町役場と連携し、「県Yahoo防災アプリ」やパトカーの車載マイクを活用した熊出没情報の広報、注意喚起を行つてはいたところ、警戒中の当署員が住宅街から離れた九頭竜川の左岸で熊3頭を発見した。熊は茂みの中に身を隠したが、再び住宅街へ現れる可能性もあったため、関係機関と連携し、装備資機材を活用して、翌朝までの24時間、固定警戒を実施した。翌朝、熊の姿は確認できなかつたことから、関係機関と検討し警戒を解除した。</p> <p>(4) 福井市における逃走豚対応</p>	

熊の出没対応中、福井市内では豚の逃走事案があった。10月22日午後1時頃、「福井市森田地区で豚1頭が道路を徘徊している。」との通報を受け、直ちに当署員が現場に急行した。当署員は、県道付近で体長1メートルくらいの大きさの豚を確保した。付近の聞き込み等から飼育者を早期に特定し、適切な管理を指導し引き渡した。

(5) 交通死亡事故防止対策

9月23日に美山地区で車対バイク、10月3日に光陽地区で車対歩行者、11月10日に春山地区で車対歩行者の交通死亡事故が発生した。現時点、今年度の管内における交通死亡事故は5件5名（前年同期比+1）となった。当署では、全署員がこれ以上悲惨な交通事故を発生させないという強い意識の下、

- ・幹線道路を中心とした夜間の赤パト警戒や駐留警戒
- ・主要幹線道路での交通指導取締り
- ・現場付近の店舗（コンビニ）に対する道路の横断防止広報
- ・高齢者の対応をした場合の反射材の貼り付けや家族に対する防犯依頼

などの再発防止対策を強力に推進している。特に発生現場では、薄暮時から夜間にかけて常時赤パト駐留監視を実施して歩行者に対する声掛けを強化しているほか、幹線道路沿いのコンビニ店に対して、歩行者への注意喚起のチラシを掲載させていただいた。その結果、幹線道路を横断する歩行者が減少するなど、一定の効果が出ていると感じている。

(6) 「県民の警察官」の紹介

3 署外研修

機動隊庁舎の視察

